

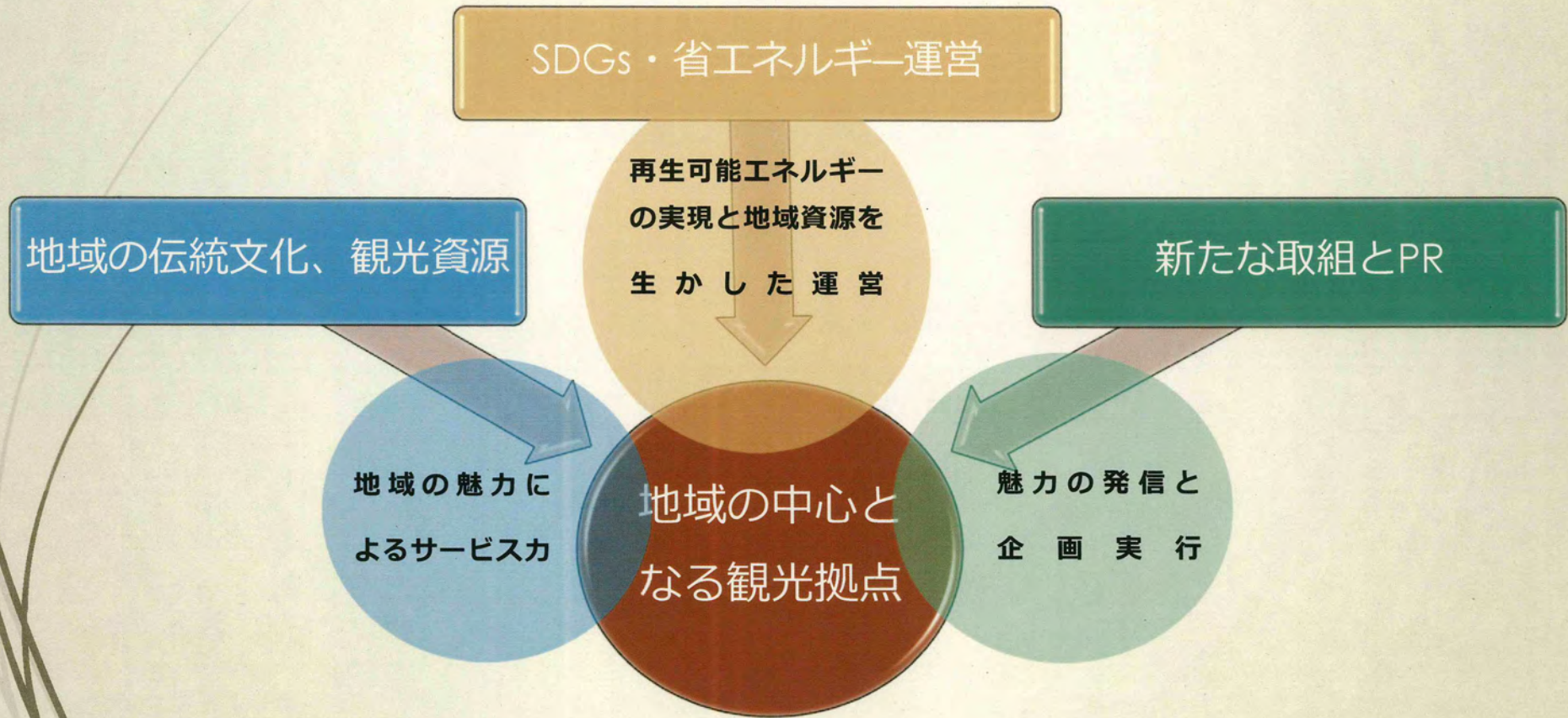
# 1. 企画概要

## 事業目的

3

- ①飯山駅前市の市保有地を活用し、宿泊を主とする施設を建設、運営する
- ②新幹線停車駅の目前という立地を生かし、周辺観光の拠点となるホテルを目指す
- ③飲食・健康増進・浴用施設を併設、地域住民の需要を喚起し新たな人流をつくる
- ④地域経済への貢献と観光の核となる施設運営を行う

# 事業コンセプト



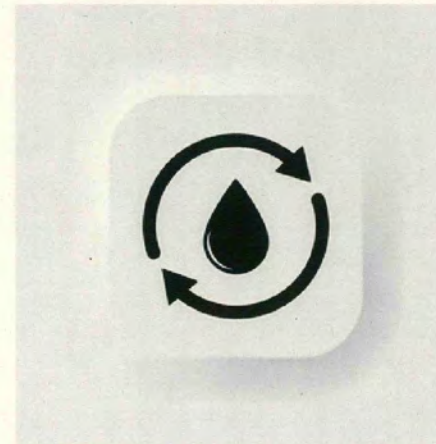
# テーマ

## 低炭素社会における地域のロールモデルとなるホテル

- ・ SDGsを理念とする地域自立型エネルギーの導入
  - ⇒ 再生可能エネルギーとリサイクル燃料の利用
- ・ 信越自然郷を広域観光圏と定義
  - ⇒ 中心である飯山駅前のホテルを拠点とした新たな人の流れの構築
- ・ 太陽経済（自然資源経済）の推進エンジンとなる施設、設備設計と運営

## 再生可能エネルギーの実現と 地域資源を生かした運営

- 1.再生可能・再利用エネルギーの採用  
太陽光発電、太陽熱、オイルリサイクル設備の導入
- 2.生産・消費エネルギーの可視化  
ロビー等に情報パネル（デジタルサイネージ）を設置し情報発信を行う
- 3.省エネルギー経営の推進  
高効率設備の導入による省力化の推進
- 4.地域経済の活性化  
地域雇用の受け皿と新たな消費、需要の創出



## 地域の伝統・文化による サービス力

### 1. 受け継がれる職人の技

300年を数える飯山仏壇、400年の内山  
和紙の伝統

⇒ IT・個人主義の時代に伝えたいもの

### 2. 雪国の暮らしを伝える

厳しい冬を楽しむ知恵

⇒ スノースポーツと冬期の祭り

### 3. 歴史を刻む寺社仏閣

古くからこの地を見守ってきた古刹

⇒ それぞれの物語を知る

修験の里、小菅

⇒ 日本独自の山岳信仰



## 新たな取組と魅力発信

1. 省エネホテルを核としたまちの再活性化

⇒ 自然と調和する地方のモデルを目指す

2. 日本古来の文化を再発見する

⇒ 地域社会の中心だった寺、家庭内の小さな寺である仏壇

寺と仏壇の歴史から、日本の原風景を知る

3. 「癒し、満たされる」まちへ






⇒ 都心から新幹線で2時間の場所で、民謡「ふるさと」にも謡われるかつての日本を体験する

4. 自然豊かな地で、新たな取組を興す

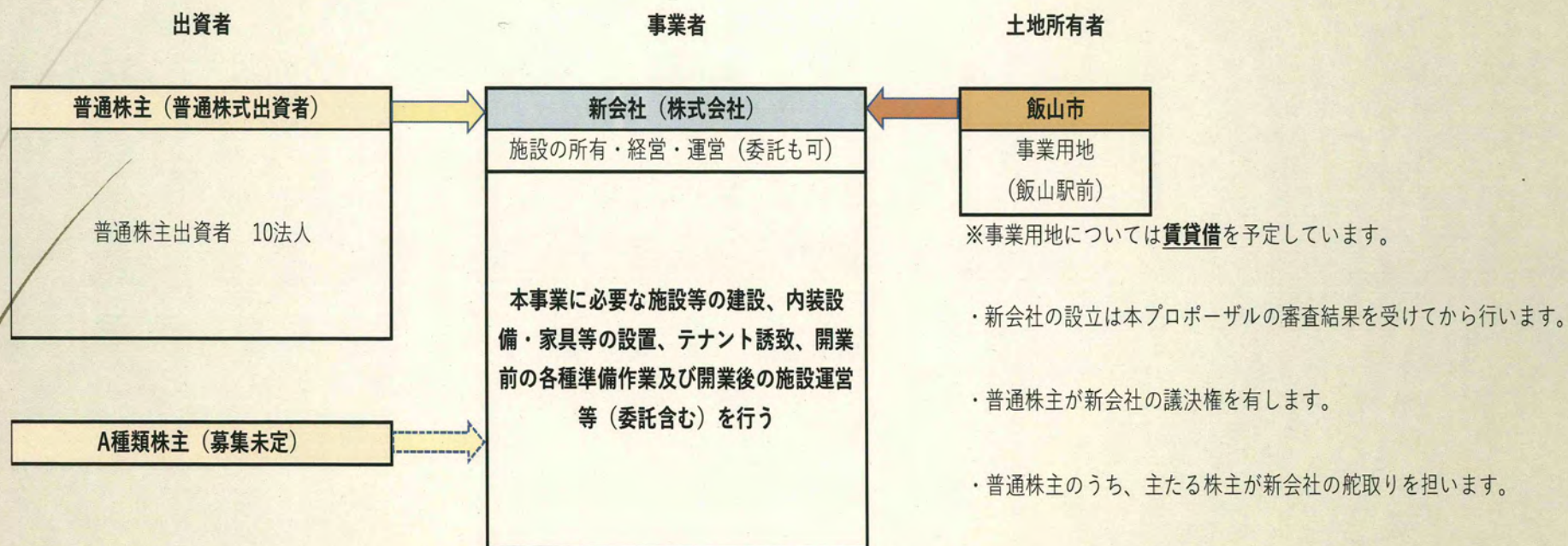
⇒ 医療との協同による心身の健康増進



## SDGsを理念とする地域自立モデル

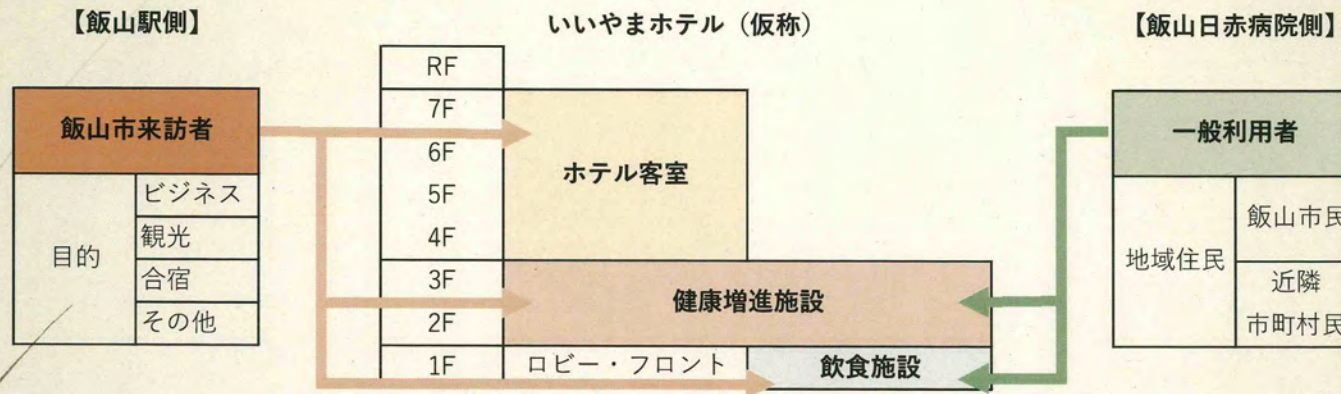
SDGsの目標		本事業で貢献可能な要素
 3 すべての人に健康と福祉を	3.d すべての国々、特に開発途上国で、国内及び世界で発生する健康リスクの早期警告やリスク軽減・管理のための能力を強化する	医療・宿泊ドック、健康ツアー
 7 持続可能なエネルギー	7.1 2030年までに、手頃な価格で信頼性の高い現代的なエネルギーサービスをすべての人々が利用できるようにする	コーポレートPPA
	7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に増やす	太陽光発電・太陽熱利用
	7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる	省エネ設備の導入
 8 働きがいも経済成長も	8.9 2030年までに、雇用創出や各地の文化振興・産品販促につながる、持続可能な観光業を推進する政策を立案・実施する	事業計画全体による 地域観光の活性化
 11 持続可能な都市と地域	11.a 各国・各地域の開発計画を強化することにより、経済・社会・環境面における都市部、都市周辺部、農村部の良好なつながりをサポートする	北陸新幹線停車駅前の立地を生かした都市部と地方の繋が り
 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生を、予防、削減（リデュース）、再生利用（リサイクル）や再利用（リユース）により大幅に減らす	オイルリサイクル
	12.b 雇用創出や地域の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業に対して、持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する	宿泊客誘致策に対するPDCA

## 組織図





# 施設概要と想定利用者



想定施設構成 (※現時点での構成です)			
ホテル施設		付帯施設	
客室数	客室種類	健康増進施設	
62室	シングル(SD)・ツイン・滞在型	温泉施設	フィットネス施設
			テナント誘致予定

テナント誘致についての条件案	
1	地元食材の活用
2	アルコール、デザート類に地元の産品を取り入れる
3	食材の仕入れには地元業者の利用を検討する
4	従業員 (パート等含む) の雇用に市内在住者の採用を検討する

# 飯山駅前のにぎわいを創出し、地域に交流の輪を広げる宿泊施設



## 配置計画のポイント

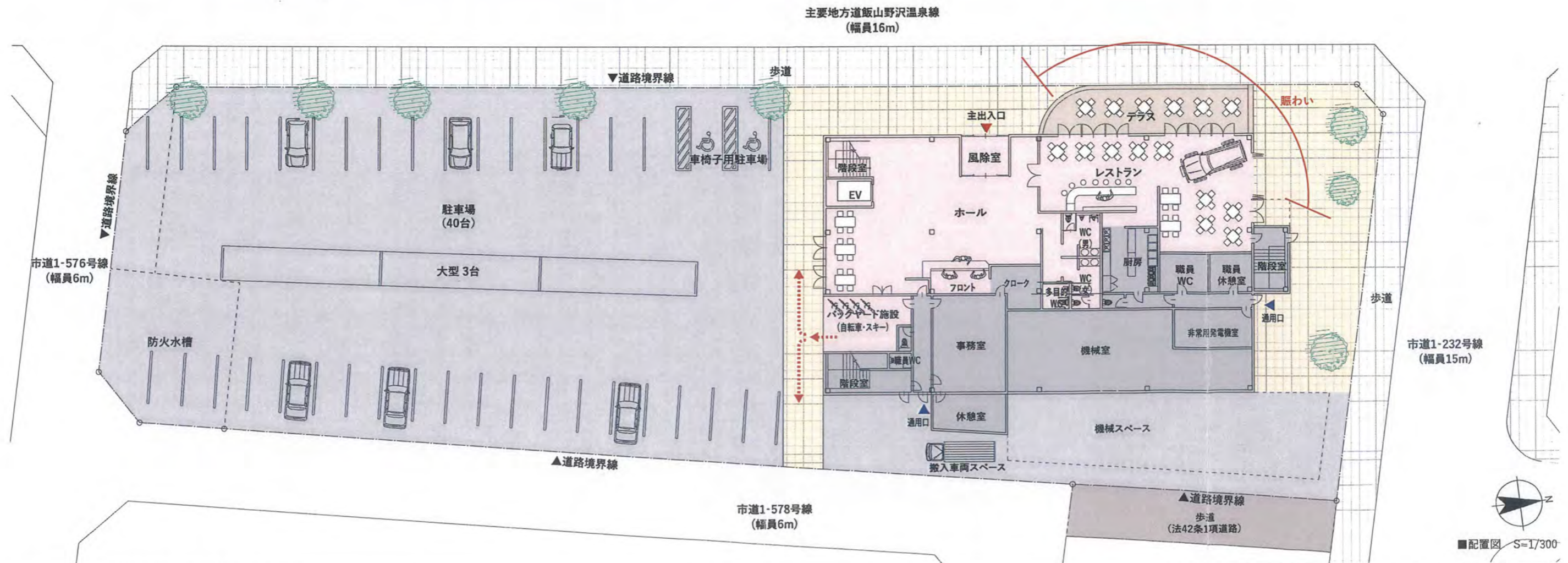


1 飯山駅前ににぎわいを創出する 交流空間

2 飯山の自然を感じ、喧騒から離れて過ごす 落ち着いたある宿泊空間

3 飯山の地域性・文化を発信する拠点

- ①飯山駅前ににぎわいを創出する、交流空間
- ・地上階にレストランやホテルのフロント・ホールを配置し、街路に沿ってテラスを配置することで駅前ににぎわいに寄与します。
- ②近隣に配慮した建物配置
- ・北側、東側の住宅地に配慮し、建物を配置します。
  - ・住宅地側の敷地境界線から十分にセットバックし、日影規制に適合した配置とします。
  - ・建物高さは最小限とし、近隣への圧迫感を軽減します。
- ③飯山市特有の気候、雪への配慮
- ・駐車場には除雪の障害になる突起物や低木を設けず、スムーズに除雪が行える計画とします。
- ④誰もが利用しやすいバリアフリーな計画
- ・建物に近接して車椅子用駐車場を設け、車椅子利用者に配慮します。
  - ・主要な出入口には段差を設けず、バリアフリーに配慮します。





# 飯山の自然を感じながら、くつろげる滞在空間

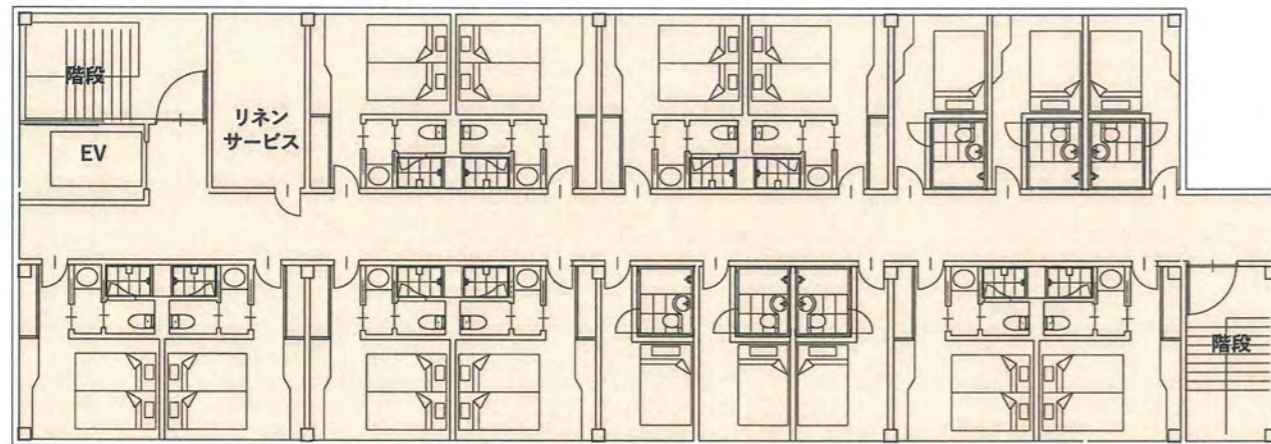
## 各階平面図

### ■4F～6F シングル・ツインルーム

- ・シングルルームとツインルームを設け、幅広い層の宿泊客に対応します。
- ・一般の観光客だけでなく、サイクリストやスキー客など、飯山ならではの観光客が宿泊しやすい内装とします。



S=1/200



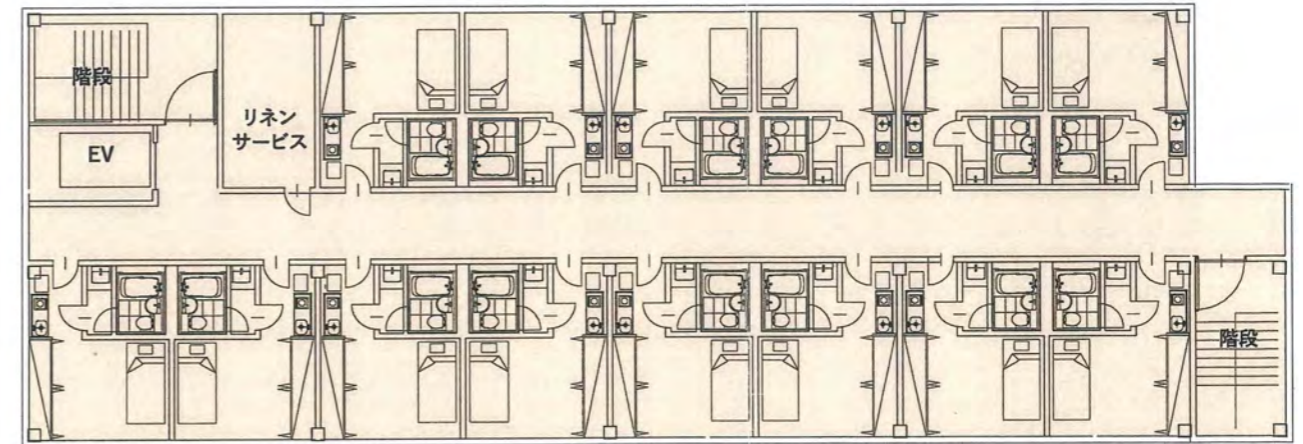
■4F～6F PLAN  
407.7 m<sup>2</sup>

### ■7F 滞在型客室

- ・最上階は滞在型の客室を設け、長期の滞在や、冬場の家族の見守りなどに訪れた方々の宿泊に対応します。

### 面積表

1F:	666.5 m <sup>2</sup>
2F:	650.7 m <sup>2</sup>
3F:	650.7 m <sup>2</sup>
4F:	407.7 m <sup>2</sup>
5F:	407.7 m <sup>2</sup>
6F:	407.7 m <sup>2</sup>
7F:	407.7 m <sup>2</sup>
屋上 PH:	30 m <sup>2</sup>
合計:	3628.7 m <sup>2</sup>

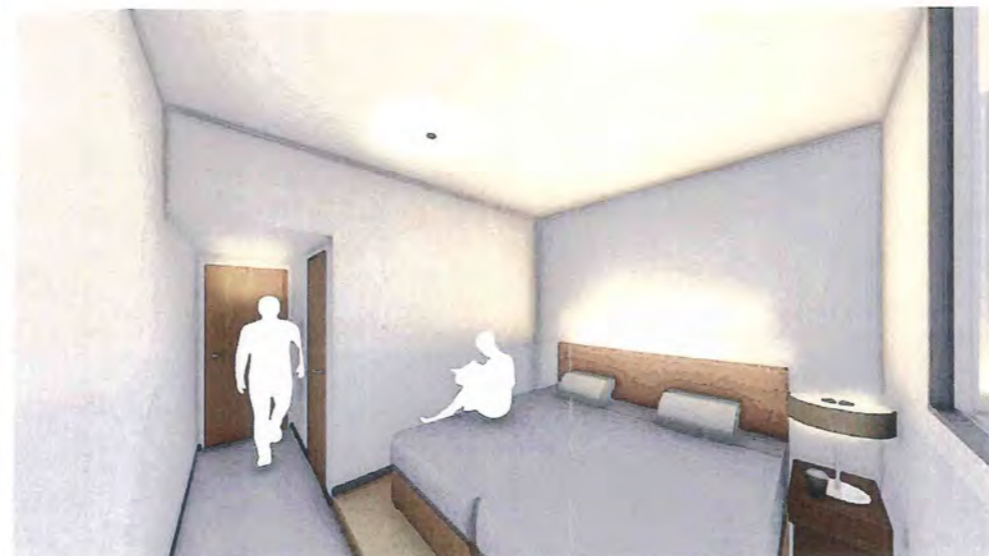


■7F PLAN  
407.7 m<sup>2</sup>

## 内観イメージ



■シングルルーム内観イメージ



■ツインルーム内観イメージ

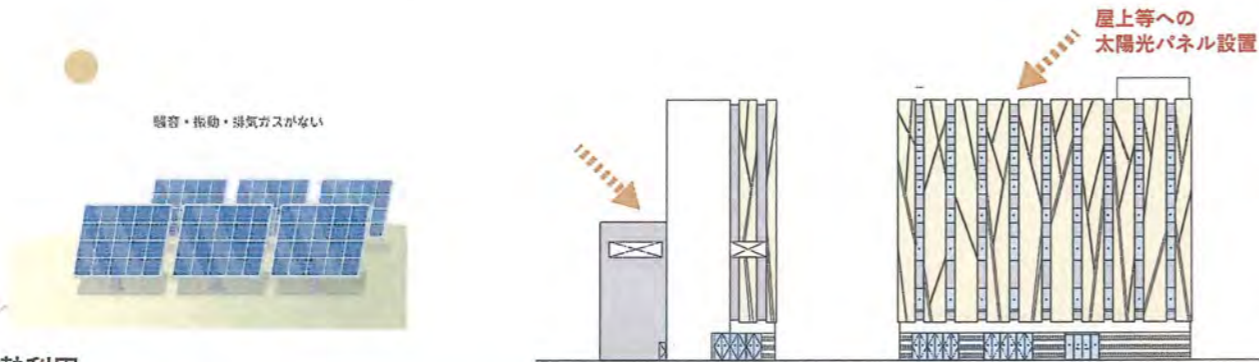


■滞在型内観イメージ

# 再生可能エネルギーと地域資源を活用したエコホテル

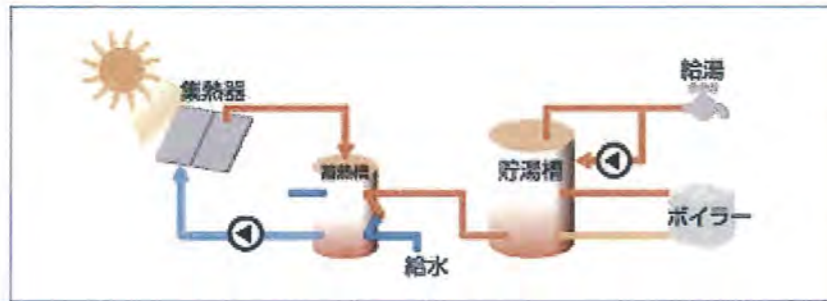
## 太陽光発電

- ・屋上に30kWの太陽電池モジュールを設置し、計画建物内の電気設備機器へ供給、買電量の低減を図ります。
- ・非常時には自立運転機能を利用した電力供給が可能な計画とします。



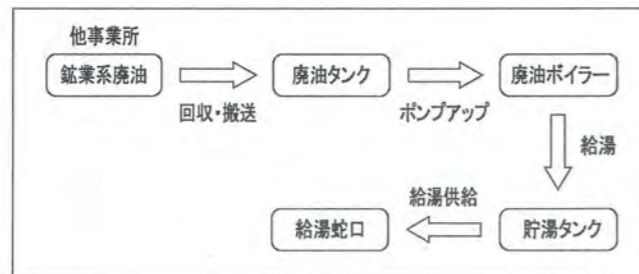
## 太陽熱利用

- ・太陽集熱パネルを設置し太陽熱回収を行います。
- ・太陽の熱を利用してつくったお湯から熱エネルギーを回収し、空調等に利用することで、燃料消費を抑え、省エネルギー化・CO2削減に貢献します。



## オイルリサイクル

- ・周辺地域の他事業所で廃棄される鉱業系廃油を回収し、廃油ボイラーによって施設内の給湯を賄います。
- ・オイルリサイクルによってゴミを減らし、地域の環境保全に貢献します。
- ・廃油利用により、熱源のランニングコストを低減します。



## メンテナンス・更新のしやすさ

- ・設備機器・器具は保守管理を容易に行えるスペースの検討を行います。
- ・大型の設備機器が容易に更新ができる搬出入ルートを確認検討を行います。

## 廃湯熱利用

- ・浴槽溢れ湯及び、洗い場の排湯を回収し、排湯槽に集水した後、熱交換器を用いてボイラー補給水と熱交換を行うことにより、エネルギーを無駄にしない施設を目指します。
- ・燃料消費を抑え、省エネルギー化・CO2削減に貢献します。



## 生産・消費エネルギーの可視化

- ・各再生エネルギー設備の生産・消費エネルギーを表示できるサイネージディスプレイをロビー等に設置することにより、地域の環境活動に貢献します。



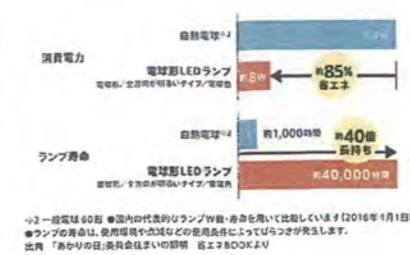
## 光熱水費の低減

- ・節水型衛生器具を採用し、水道料金の低減を図ります。
- ・照明回路のスイッチは細分化し、便所・廊下は人感センサーによる制御を行います。



## 高効率機器の採用

- ・高効率型の空調機器・換気機器を採用します。
- ・低消費電力・長寿命のLED照明を採用することにより省エネルギー化を図ります。



※2-1000円以内の代表的ランプワット数を比較しています(2016年4月1日現在)  
 ※ランプの寿命は、使用環境や点検などの使用条件によって異なる場合があります。  
 出典 「あかりの住」委員会委員の啓蒙 頁28BOOK24V

### 事業者からの支援要望事項

項目	支援要望内容	期間・金額・備考等
1	飯山駅前ににぎわいを創出し、地域に交流の輪を広げる当施設への支援	想定する総事業費（税込15億円）のうち5億円 建設予定施設：ホテル客室、健康増進施設
2	客室稼働率向上のための継続的な支援	観光・イベント客の呼び込み、公益に資する利用（医療従事者等）のための補助・借り上げなどによる稼働率の向上
3	ふるさと融資制度の利用にあたっての迅速な手続等	